

管理所レビュー VOL.01

(H30.4.17 水源林管理所)

4月7日(土)の第一回のボランティア活動日は、やや肌寒い空気に包まれる中ではありましたが、春の花々が咲く、絶好の天気にも恵まれました。

当日は、平成30年度第一回目の活動であることから、冒頭に、村居新理事長と温井水源林管理所長からのあいさつを受け、平賀副所長代理による間伐作業場所の説明のあと、間伐作業に入りました。皆様、大変お疲れ様でした。

間伐作業は、大変危険を伴う作業です。今年も基本に忠実に、安全第一を心掛けた作業をよろしくお願いします。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振り返りなどをお知らせします。

1 60名のご参加、ありがとうございます。



満開のミツバツツジとソメイヨシノ。



新理事長あいさつ。



水源林管理所長あいさつ。

2 作業の様子とワンポイントアドバイス。



今年も始めの会からしっかりと。



大事です。状況確認と適正判断。



高さのある立木の伐倒は慎重に。



かかり木発生！力を合わせて。



大径木のかかり木を上手に処理。



不安定な材の玉切りは注意して。



傾斜地作業は足場の確保から。



キレイな受け口が出来ました。



ツルの残し具合も good。

3 欠頂木と折損木について

今回の活動において、欠頂木（けっちょうぼく）と折損木（せつそんぼく）が発見されました。原因は、3月の湿雪と強風の影響だと考えられます。

欠頂木（スギ）は、大径木でしたが、安全に処理されました。（3班）

折損木（アカマツ）は1班へのアプローチ道上にあり、通行に危険が伴うため、今回1班は、前の1班区（現2班区上）での作業となりました。

なお、この折損木は、折れた枝先が立木に接触して処理するには危険な状態だったため、後日、専門業者が処理することとしました。



スギの欠頂木。



折れて落下した先端部分。



アカマツの折損木。

- ※ 欠頂木は倒れにくいいため、必ずロープをセッティングし、受け口は大きく、追い口はやや低めに切り込み、確実に伐倒方向へ倒すようにしてください。
 - ※ 折損木は、折れた先端部分が落下する危険があるため、折損部分をロープなどで引き落とし、欠頂木としてから処理してください。
- なお、折損部分の引き落としの際には、滑車を使用するなどして当該木から距離をとり、離れた安全な位置でロープを引くようにしてください。

4 「道作り班」の編成をお願いします。

作業地内の移動効率のアップと安全対策として、4班～9班内での「道作り」を実施する予定です。

当日の参加者数の都合もあるとは思いますが、5名体制の「道作り班」を一班編成したいと思いますので、参加者の募集をお願いします。



歩きやすい道を作りましょう！

5 「はまっ子どうし」のご購入、ありがとうございます。

今年の活動から、横浜市のオフィシャルウォーター「はまっ子どうし The Water」を、道志水源林ボランティアの会として一括購入していただきました。誠にありがとうございます。

「はまっ子どうし The Water」は、道志川に注ぐ清流を詰めた、おいしいペットボトル水として大変好評を得ています。これからの活動時、皆さんの乾いたのどを潤し、ひと時のやすらぎを与え、熱中症対策に役立つことと思います。



乾いた体にこの1本。

- ※ アカマツの折損木は、17日（火）に処理が完了しました。
- ※ 4月20（金）は、晴れのち曇り、最高気温23度、降水確率10%の予報となっています。
- ※ 出発前には、最新の天気予報をご確認ください。

★それでは4月20日、気をつけてお越しください。